

はーとふる

Vol.15

NPO 法人 石狩国際交流協会
Ishikari International Association



1.

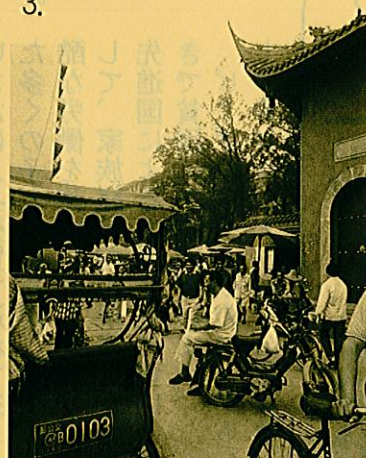


2.



4.

3.



祝 姉妹都市提携10周年！！ 今春4月、「彭州市訪問の旅」へ。

彭州市との交流は、1984年から始まり、公式に姉妹都市として
印されたのが2000年10月。

石狩市と当協会では、彭州市で2010年4月に姉妹都市提携10周年を祝う「四川省彭州市訪問の旅」を企画しました。

今回は、彭州市に長期滞在した会員の鈴木トミエさんに彭州の魅力
を伝えてもらいます。

彭州市の友好と春 鈴木トミエ

私が彭州市に滞在したのは、石狩市との姉妹都市提携5周年を迎えた2004年10月から翌年9月までの11か月間である。滞在中の様子は『彭州市滞在記』として冊子にまとめた。国際交流は、お互いの国や歴史、文化の違いを受け入れて、友好関係を深めることにある。とはいえ、中国の8月は、連日、日本の帝国軍人がいかに中国人に残酷的な行為をしたかを、延々とテレビで放映する。この季節、春からの反日感情の高ま

りもあって、複雑な気持ちであった。私の宿泊していた友好会館に公安の警備がなされた。

お互いの国に暗い過去があったとはいえ、中国の人々は日本人が好きである。日本人のもつ清潔で誠実、礼儀正しくて勤勉なところに尊敬さえ抱いているように思われた。私たちが中国人の人たちに謙虚に接していけば、交流はいつまでも続くだろう。

四川大地震の復旧が気になるが、彭州市の人々は持ち前の明るさでそれを乗り越えていくに違いない。寒い冬が過ぎれば、暖かい春が来る。

3月には菜の花と桃の花が咲き、4月には丹景山に牡丹が咲き誇る。南宋時代の詩人、陸遊（1125年〜1210年）が「蜀の国では天彭の牡丹が一番美しい」と詠んだほど「天彭牡丹」は気品があった。花の香に包まれて山頂まで登ったのが、思い出される。

彭州市の春は花の季節。花の美しさに酔いしれ、酒を酌み交わしたいものだ。

写真：

1. 「石狩彭州友好会館」での交流
2. 春の彭州市。菜の花が美しい。モノクロ印刷なのが残念...
3. 彭州市街地の夏の様子。湿度が高いせいかわ木の葉の緑がとても濃い。寺院などの朱色がよく映え、エキゾチック。
4. 歓迎と祝いの席は、歌、そして「乾杯！」の嵐。お酒の代わりにジュースでも大丈夫。

World Festival 2009 世界中から集まったゲストからのコメント

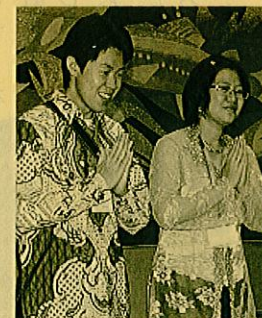


← JICA 札幌センター所長
2009年6月に、アフリカのマダガスカル JICA 事務所から札幌に着任しました外川（とがわ）徹です。北海道は、140年の開拓の歴史、スケールの大きい農業、公共事業と、開発途上国のお手本となる経験・ノウハウの蓄積のある土地柄、JICA 札幌として地元のリソースを最大限活用させて頂く所存ですので宜しくお願いします。

きらびやかな民族衣装で来てくださったのは、総勢 17 人の JICA 研修生。石狩にいなから、遠くアフリカ(ブルキナファソ、コンゴ、ドミニカ他)のお客様に会えるなんて、大感激！

→ サーサ・ンゴダさん(ザンビア)

「日本に来て1年ちょっと。石狩は札幌より静かですね。今度は温泉に入ったり、歴史地区を歩いたりゆっくり石狩見物したいな。ワールドフェスティバルはお客様じゃなく、スタッフとして参加できるのがすごくおもしろい。石狩の皆さん、また来年来るからヨロシクお願いします！」



← エルウィンさん
マリアさん
(インドネシア)

「たくさんの人に出会えて楽しかった♪インドネシアのことを知ってもらえたのもうれしいです。あの日知り合ったゲストとその後連絡を取り合っているんですよ。」

おふたりは、実はご夫婦なんです♥。
ファッションショーでの息もびったり。

ジャイさんたち3人(左から、アクソンさん、サワンさん、ジャイさん)は、微笑みの国「タイ」からの留学生。タイ語で名前を書いてもらった子どもたちは、大喜び♪伝統あそび「門(もん)」を紹介してもらいました！



ひときわ明るい色のシャツと帽子で現れた彼は、現在、北大獣医学部留学生。キャラクターも明るくて...あらあら踊りだしちゃったよ〜。

← ジャイさん(右)(タイ)
「タイのお正月は『ソクラーン』と呼ばれ、実は4月13日から15日です。人々は互いに“水かけ”をしてお祝いします。水は“清浄”と“再生”のシンボルで、もともと仏像を洗い清める習慣から来ています。年長者や目上の人に水をかけて祝福します(若者たちはお祭り騒ぎで盛大にかけあいます)。“水かけ”しながら、新年の願いを唱え、鳥かごの鳥や水槽の魚を放ちます。そうすることで、新たな年に幸運が訪れると信じられています。石狩の皆さんにとっても2010年が素晴らしい年になりますように...」

活動の様子をパソコンで

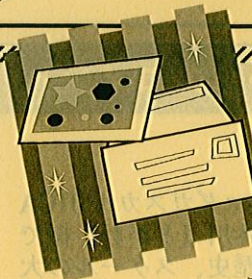


HPアドレスは
<http://www.i-eris.tv/usFirst.do>

■編集・発行■
NPO法人石狩国際交流協会
広報部会
TEL64・5931 FAX 64・5932
メール iia@dream.ocn.ne.jp



昨年11月15日(日)花川北コミセンにて開催。石狩市内外の英語指導助手、北大留学生、JICA 研修生など22カ国・46人の外国人の皆さんを含め、260人もの市民が参加。民族衣装ファッションショーでは、全18カ国の衣装をご覧いただきました。来年、石狩での再会を誓って、See You!



家庭科の授業では、ジンジャーブレッドクッキーを作りました。食べてみるとアイシング

カナダのクリスマス 河原麗奈
 8月末にカナダに来てから、様々な体験をしています。今回は、カナダのクリスマスの様子をお伝えしようと思います。
 クリスマスの時期は、街もクリスマスの風景で彩られ、近所の家もクリスマスデコレーションされていて、夜になると、とても綺麗でした。ホストファミリーの家でも大きなクリスマスツリーを飾りました。2メートルあるんじゃないかってくらい大きいです。そして、クリスマスツリーのデコレーションがとんでもなく多い！4人がかりでデコレーション。
 マディ家(ホストファミリー)の人とジンジャーブレッドハウス※を建設(製作)しました。クリスマスツリーのデコレーションより時間がかかりました。3時間くらいかかったんじゃないか！(映画1本終わるくらいの長さ)たかがジンジャーブレッドハウス、されどジンジャーブレッドハウス。恐ろしい戦いでした…。

がとっても甘くて、わたしはあまり好きではありません。そんなこんなでクリスマス休暇に突入。気付けばクリスマスツリーの下に大量のプレゼント。
 24日はサンタさんが来るのでみんな早く就寝。25日は朝起きると靴下にプレゼント。中には：歯ブラシ、ヘアゴム、靴下、チョコレート。生活必需品中心でした。サンタさんは家庭的でした。
 クリスマスの朝に家族みんなで各々のプレゼントを開けました。カナダのクリスマスは、朝からゆっくりして家族で過ごす日。日本の正月のような感じでしょうか。
 カナダのとても楽しいクリスマス経験でした。



いらっしやいませ～



写真：2008年、2009年の交換留学生たち。左から、河原麗奈さん、マディ、ミッキー、岡山あゆみさん。

留学生からのエメール

石狩翔陽高校からキャンベルリバーへ留学中の川原麗奈さん(2009年留学生)。カナダで初めて体験すること、食べたもの、出会った人。色々な経験をしているようです。そんな彼女から毎月事務局に届くメールから一通をご紹介します。

もっと盛り上げ隊! 『事業部会』活動のようす

2007年に設置された「事業部会」。市内のさまざまなイベントに参加しています。今回は、昨年の夏に開催された「いしかり産業まつり」での活動の様子をお伝えします。

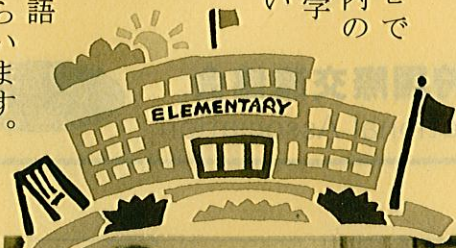
「事業部会」は、姉妹都市交流以外の独自の国際交流事業を「もっと盛り上げた」と設置されました。活動を活性化させるための資金づくりは、協会にとつて今一番の課題。年度末の決算を目前に控えるこの時期、事務局は頭を痛めます。「三人集まれば文殊の知恵」とは言いますが、なかなかどうして難しい。(アイディア募集中)
 今年度は、昨年の夏、『いしかり産業まつり』に出店、池田部会長を筆頭に、会員やホストファミリー、青年会議所の皆さん総勢32人にもお手伝いをいただき、焼きホタテ、そば、うどん、ビール、ソフトドリンクを販売しました。
 留学生たちは、慣れない売り場に四苦八苦しながらも、お祭りを楽しんだようでした。(マディとミッキーは「サーモンライダースhow」の舞台に飛び入り参加!)
 こうしたイベントに参加することで、留学生をたくさんの人に知ってもらおうとともに、会員同士の交流の場にもなっています。
 事業部会では、活動をお手伝いくださる会員を募集中です! 「やってみようかな」と思った方は、事務局までご連絡ください。

小学校でも Let's Enjoy English!! リンジー&アケミの授業風景

小学校高学年での英語学習が2011年からスタートします。学校の先生たちには、大変かもしれませんが、地域の国際化を願うIIAには、うれしいニュースです。

その英語学習に欠かせない存在となっているのが、石狩市のAETリンジー。伊藤事務局員は、リンジーと学校の先生たちとの橋渡し役や授業のお手伝いをしています。

昨年8月から石狩に滞在しているAET(英語指導助手)リンジーさんと、通訳を務める協会の伊藤事務局員。
 このコンビで週に1回、市内の小中学校で英語学習を行っています。「楽しんでもらえらる雰囲気づくり」を心がけ、ゲームや歌を中心に英語に親しんでもらいます。

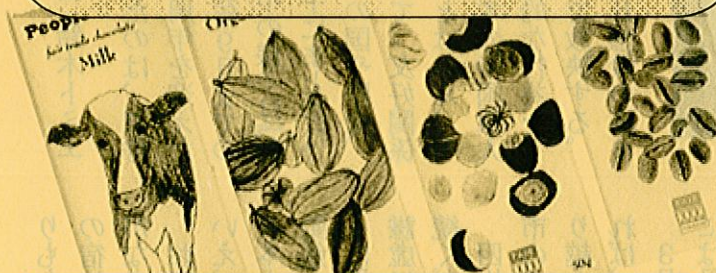


リンジー&伊藤 紅葉山小学校の先生たちと

子どもたちの一番人気は、好きなフルーツや動物がテーマのフルーツ・バスケット。張り切りすぎて転ぶ子も出るほどの大盛り上がりです。
 リンジーさんは、朝の授業で歌った歌を、その日1日中口ずさんでしまうそうです。授業のあとは握手&サイン攻めに合うこともしばしば。すっかり石狩の有名人名になってしまいました。伊藤事務局員も「きのう生協で見かけたよ」などと子どもたちに見つけられて驚かされています。ちよつと照れてしまいます。

2.14 好きな人にも、世界にも愛を贈ろう ピープルツリーのフェアトレードチョコレート 数量、期間限定 予約販売のお知らせ

今年度から取り組みを始め、前号の「はーとふる」でもお伝えした「フェアトレード」商品の販売。これまでたくさんのお客様に購入していただきました。バレンタインデーが近づいたこの季節。大好きな人へ美味しいチョコレートを、そして、世界にも愛を贈りませんか。



チョコの種類は全部で9種類。コーヒー、ホワイトクリスピー、ヘーゼルナッツ、ミルク、オーガニックビター、レーズン&カシューナッツ(各50g 290円) ラム、カプチーノ、ブラリネ(各100g 580円)
予約受付は1月29日(金)まで
電話・メール・FAXにて承ります。
 ※ チョコレートのお受け取りは、2月8日(月)～10日(水)までの3日間。
 ※ 石狩国際交流協会事務局(北ガスプラザ2F・09:00～18:00)にて。

『やさしい口どけ』の秘密とは?

日本でチョコレートを作る際、一般的に使われるカカオ豆の8割は、ガーナ産です。
 実は、ガーナやコートジボワールなどの大規模カカオ農場では、いまだに人身売買で連れて来られた多くの子どもたちが、危険で過酷な労働を強いられています。そして、家族経営の小規模農家は、先進国によるカカオ豆の買いたたきで貧困にあえいでいます。
 ピープルツリー※のフェアトレードチョコレートは、公正な賃

金で働く大人に育てられたカカオ豆のみを使用し、練り時間を短縮するための乳化剤は使用せず、長時間かけてカカオと砂糖のみを混ぜ合わせで作っています。
 価格は、50gで290円です。お口にも、そして心にもやさしいチョコレートをお贈りませんか。
 ※ピープルツリーは、人と地球にやさしい貿易フェアトレードを行なう会社「フェアトレードカンパニー」のブランド名です。アジア、アフリカ、南米の15ヶ国で公正な価格の支払いやデザイン・技術研修の支援、継続的な注文を通じて、環境を害さない持続可能な生産を支えています。